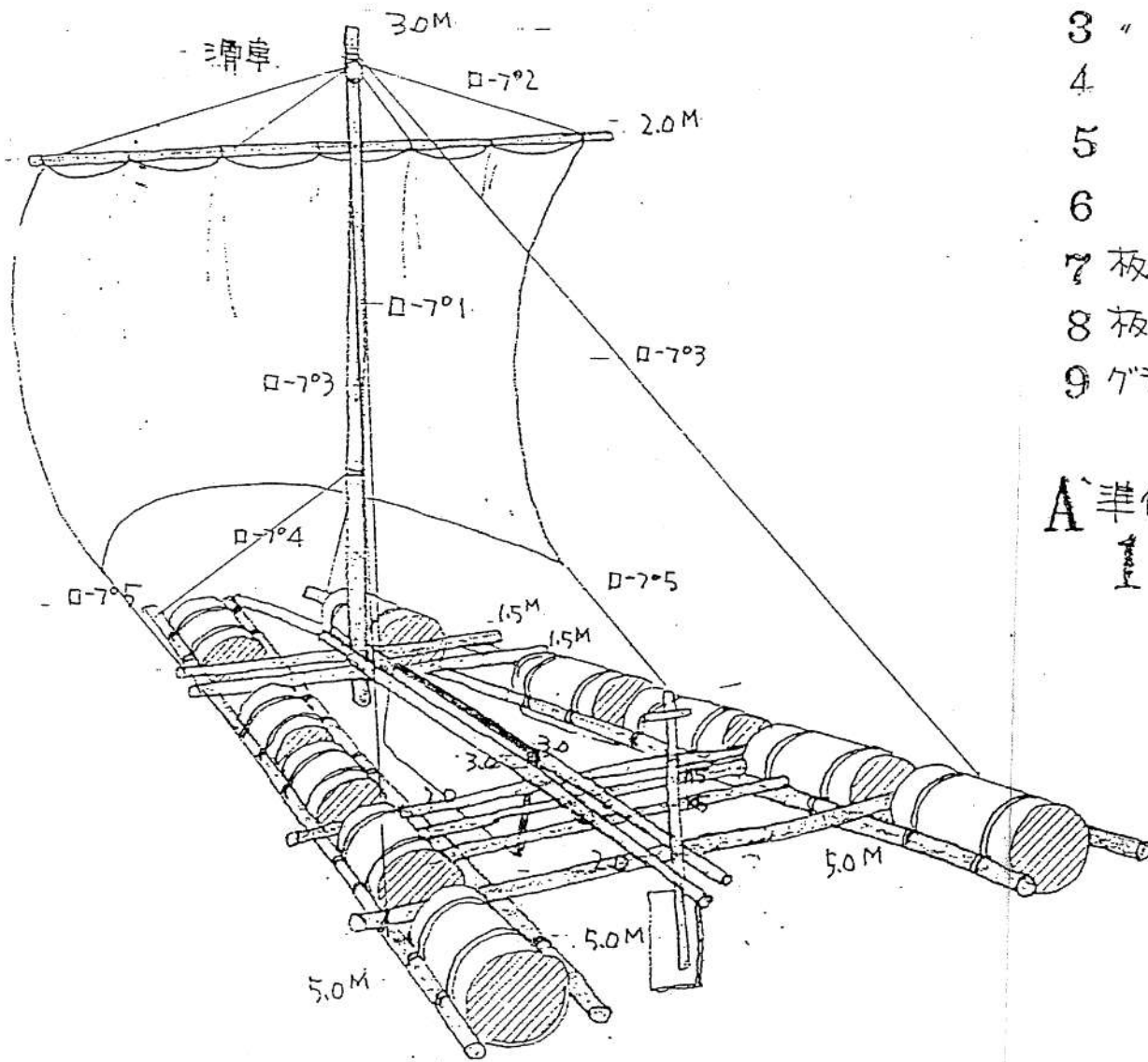


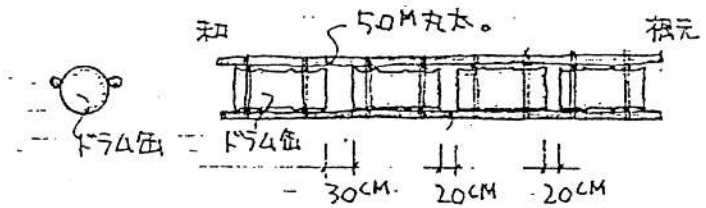
№5 いかた



1	丸太 5.0 ^M (台)	4本	10	滑車(岸)	(小)	1 ⁴
2	" 3.0 ^M	3	11	口-7°(NO1)		7 ^M 1
3	" 2.0 ^M (帆)	細 1"	12	(NO2)		6 ^M 1
4	2.0 ^M (台)	2"	13	"		3 ^M 1
5	1.5 ^M (台)	4"	14	(NO3)		6 ^M 2
6	1.5 ^M	細 1"	15	(NO4)		6 ^M 1
7	板 1.0 ^M ×0.5×0.015	1枚	16	(NO5)		6 ^M 2
8	板 0.5×0.3×0.015	1"	17	ドラム缶		6~8本
9	グラントシート	1"	18	荒なわ(約3M)		100本

A 準備

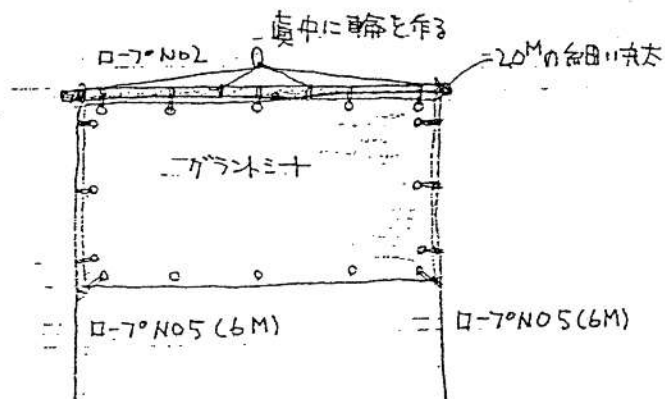
1 4.5Mの丸太を使って下図のように浮台を作る。



- 注1 浮台2組作る。
- 注2 2組は同じように作る。
- 注3 取付ける丸太はドラム缶の上の方に付ける
(浮く力が大きくなる)
- 注4 浮台をつなぐ横丸太のためドラム缶
の間は 20^{CM}, 30^{CM} あける。

2 帆を作る。

- 1 2.0丸太にグラントシートを取り付ける。
- 2 グラントシートの両端にロ-7°NO5を取り付ける。
- 3 2.0M丸太にロ-7°NO2を取り付ける。



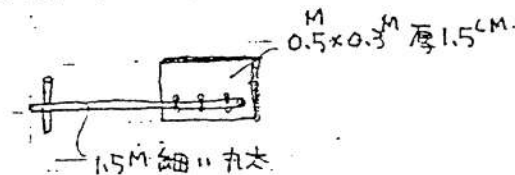
注1. ロ-7°NO2は真中に輪を作ってから取り付ける。

注2. 真中の輪で左右バランスが平均であること。

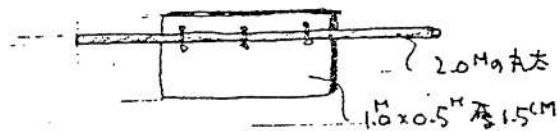
3 マストを作る。

- 1 マスト丸太の先端に小さな滑車をつける。
- 2 マスト丸太の先端にロ-7°NO3をつける。
- 3 マスト丸太の下より約1.0Mの所にロ-7°NO4をつける。
- 4 滑車にロ-7°NO1を通しておく。

4 「ろやじ」板を作る。

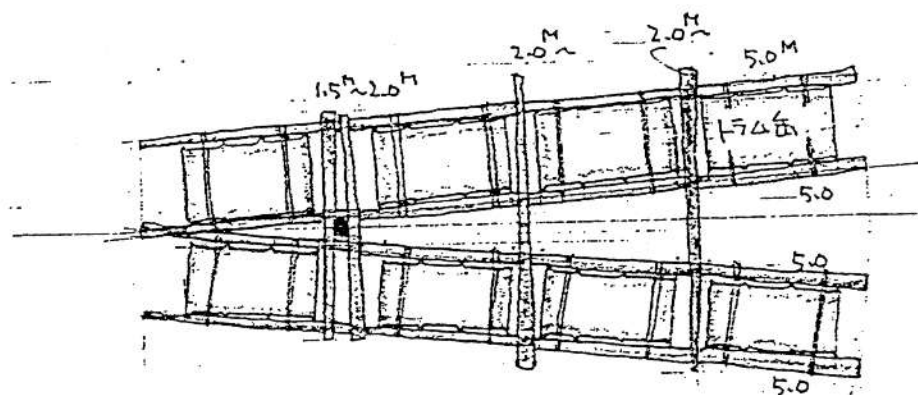


5 進路板を作る



B 組み立て。

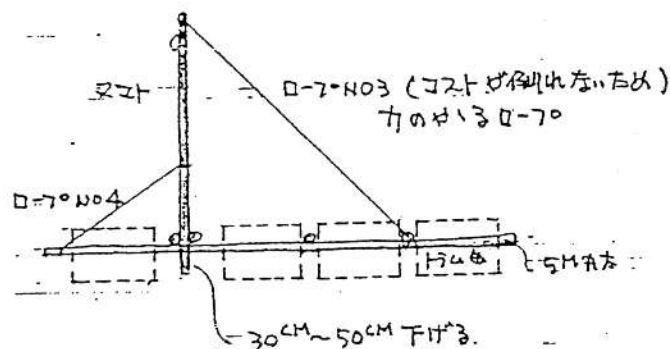
- 1 準備①で作った2組の浮台を使って台を組み立てる。



注1. マスト丸太が入る様に1.5Mの2本の間をあける。

注2. 左右のバランスのために横丸太は根元と末口の配り方を考える。

2 マストを立てる。



注1 マストの根元は台より30cm程下げる。

注2 マストはしかり台に結びつける。

(帆に風を受けると強い力が作用する)

注3 ロープは30cm程下げる。

注4 ロープは30cm程下げる。

(力は強く作用しない。)

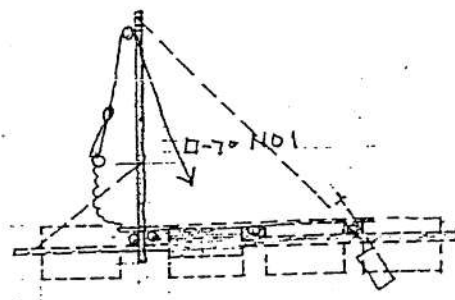
注5 ロープの端は浮台の5.0M丸太に通して結ぶ(樫の2.0丸太のみならば危険)

注6 マストを立てる前にロープを滑車を通しておく。

3 進路板(準備⑤で作したもの)を取り付ける。

4 「ろがじ」板を取り付ける。

5 帆を取り付ける。



1 滑車を通してあるロープの端に帆のロープの真中の輪に結ぶ。

2 ロープを引張りマストの根元に強く結びつける。

3 ロープの端を浮台の5.0Mの丸太に結びつける。

注1 ロープの端は強く台に結びつける。

(強い力が作用する)

注2 滑車はしかりマストに結びつけておく。

C 浮べる。

1 浮ぶ力はドラム缶(長さ90cm,直径60cm)1缶につき約スカウト1人である。